



最先端の治療を、いち早くお届けするために。



横浜市立大学附属病院 次世代臨床研究センター

YCU Center for Novel and Exploratory Clinical Trials



ご挨拶

横浜市立大学附属病院 次世代臨床研究センター（YCU Center for Novel and Exploratory Clinical Trials, Y-NEXT）は、横浜市立大学（Yokohama City University, YCU）が横浜市の支援を受け、2015年4月に設立されました。Y-NEXTには研究開発支援、臨床試験データ管理、信頼性保証、統計解析、臨床試験管理、教育研修、戦略相談の各機能を整備し、研究支援ならびに管理体制の強化に努めてまいりました。

日本は、国民皆保険、フリーアクセス、現物支給を特徴とする世界でも類を見ない医療制度を有し、誰でも効果・安全性の確認された治療を受けることができます。しかし、ひとたび医療の現場に立つと、より効果の高い治療、安全な治療、体に負担の少ない検査、これまで治療法がなかった状況の解決など、そこには期待、切実な願い、ご家族への思いといったものが溢れています。

現在、横浜市立大学では、横浜市立大学附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターと医学部、大学院医学研究科ならびにデータサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻を中心に質の高い国際水準の臨床研究や医師主導治験に一丸となって取り組んでいます。

臨床研究はその種類によりさまざまな規則や法令、指針を遵守して行う必要があります。科学性・倫理性を担保した研究を行うためには研究者単独ではなく、適切な支援・教育体制が不可欠です。Y-NEXTは横浜市立大学の附属2病院のみならず、広く学外で培われた多様なシーズや臨床現場でのアイデアを確実に実用化へと導き、先進的な医療を開発していくための支援を行ってまいります。

皆様のご支援とご参画を心よりお願い申し上げます。

センター長



山本 紘司 教授

次世代臨床研究センター ミッション・ビジョン

Y-NEXTは、下記のミッションおよびビジョンのもと、臨床研究を幅広く支援し、新たな治療法をより早く患者さんへ届けることを目的として活動しています。また、臨床研究に関わる人材の育成・教育にも取り組んでいます。

ミッション 「次世代の治療」を「あたり前の治療」として確立するための架け橋

- ビジョン**
1. 適正かつ高品質な臨床研究実施への支援
 2. 臨床研究に関わる全ての人々の教育への寄与

副センター長



田野島 玲大 准教授

大学をはじめとするアカデミアにおける臨床研究は、研究者が臨床現場で感じた課題や疑問（clinical question）を起点とし、患者さんのニーズを踏まえながら、具体的な臨床疑問（research question）へと発展させ、計画・実行していくプロセスをたどることが一般的です。

しかし、このプロセスは決して容易ではなく、研究者個人のみで完結できるものではありません。そのため、Y-NEXTのような支援組織が重要な役割を担っています。

Y-NEXTは、現場から生まれる一つひとつの疑問やニーズを、確かな医療へとつなぐ架け橋として、今後も研究者とともに歩み続けてまいります。



野崎 昭人 准教授

臨床の現場から生まれる課題や着想を、適切な支援のもとで研究へと発展させ、社会へ還元していくことが求められています。

横浜市立大学では、附属2病院および連携施設が一体となり、臨床研究の推進に取り組んでいます。Y-NEXTにおいても、センター長のもと関係部門が連携し、学内外の強みを結集した研究支援体制のさらなる充実に努めてまいります。

■組織体制

横浜市立大学附属病院 次世代臨床研究センター

センター長：山本 紘司
副センター長：田野島 玲大
副センター長：野崎 昭人

横浜市立大学及び地域医療機関における
臨床研究の推進・活性化を目的とした支援組織

研究開発支援室

室長：瀬貫 孝太郎

臨床研究（臨床試験および医師主導治験）のプロジェクト管理、
研究デザイン支援および相談業務など

臨床試験データ管理室

室長：國分 寛

臨床研究（臨床試験および医師主導治験）のデータ管理、
中央モニタリングおよび登録センター業務など

信頼性保証室

室長：友田 安政

臨床研究の品質を保証するための、監査又は調査業務など

統計解析室

室長：三枝 祐輔

臨床研究（臨床試験および医師主導治験）のデザイン立案、
症例数設計、解析計画書作成および統計解析など

臨床試験管理室

室長：柳田 洋一

臨床研究（臨床試験および治験）のCRC業務、
治験・IRB事務局業務など

教育研修室

室長：峯岸 薫

臨床研究（臨床試験および医師主導治験）の教育・研修の実施、
プロトコルの作成支援および臨床研究事務局業務など

戦略相談室

室長：小林 雄祐

本学研究者と企業、他大学の産学官連携支援や基礎研究から
臨床研究への橋渡し研究の戦略相談業務など

事務室

室長：山口 浩

臨床研究ネットワーク事務局、医学系倫理委員会事務局
および利益相反管理業務など

臨床試験データ管理室



室長

國分 寛

臨床研究の有効性・安全性データの「品質」を確保することは、研究結果の信頼性の確保および被験者の安全の確保のために必要です。次世代臨床研究センターの臨床試験データ管理室は、臨床研究のデザインに合わせたデータ収集方法（紙媒体でのデータ収集では臨床試験データマネジメントシステム（CDMS）の利用、電子媒体でのデータ収集ではEDC（Electronic Data Capture）を利用し、監査証跡をはじめとするICH-GCP、GCPおよび臨床研究法を念頭においたデータ管理体制を提供しています。

さらに中央モニタリングやSampling SDVを組み合わせたリスクベース・モニタリング方法論のアカデミア試験における普及を目指します。臨床現場のスタッフとは異なる第三者的な専門のスタッフが臨床研究データを扱うことで、臨床研究データの質がより向上し、導かれる結果の信頼性をより高めています。臨床研究に「品質」をプラスすることで、臨床研究の品質の向上、エビデンス発信に役に立てるよう臨床研究を支援いたします。

データマネジメント		登録センター
・プロトコルレビュー ・紙媒体：症例報告書（CRF）の作成、 電子媒体：eCRF画面設計 ・データマネジメント計画書作成 ・紙媒体：CDMSのデザインと構築、 電子媒体：EDCシステムの構築	・目視チェック、ロジカルチェック、データ入力 ・クエリ発行、担当医への照会 ・データ修正・固定 ・症例検討会対応 ・中央モニタリングレポート作成 ・データマネジメント報告書作成	・症例登録票／登録システムの作成 ・FAX/WEBによる症例受付 ・適格性の判定 ・動的割付や層別割付の実施 ・登録の進捗管理

信頼性保証室



室長

友田安政

医師主導治験、特定臨床研究、生命・医学系研究などの臨床研究には、被験者保護、科学的合理性、法令・諸規則や研究計画等の遵守が求められます。当室は、それらが適切に実施されているか、確認を行い、臨床研究の信頼性を保証する役割を担っています。

本学で実施される臨床研究が適正に行われているか定期的に確認するシステム調査と、病院長や倫理委員会委員長の指示のもと、臨床研究の信頼性について確認が必要となった場合に実施する原因究明調査を行っています。

また不適合の事例共有を含む臨床研究の信頼性に関する教育や、横浜臨床研究ネットワークの協定施設など他の医療機関で実施される臨床研究の品質保証に関する監査対応も行っています。

	2024年度	2025年度
システム調査	1	0
原因究明調査	1	0
監査（契約件数）	0	1
監査（実施回数）	4	5

研究開発支援室



室長

瀬貫孝太郎

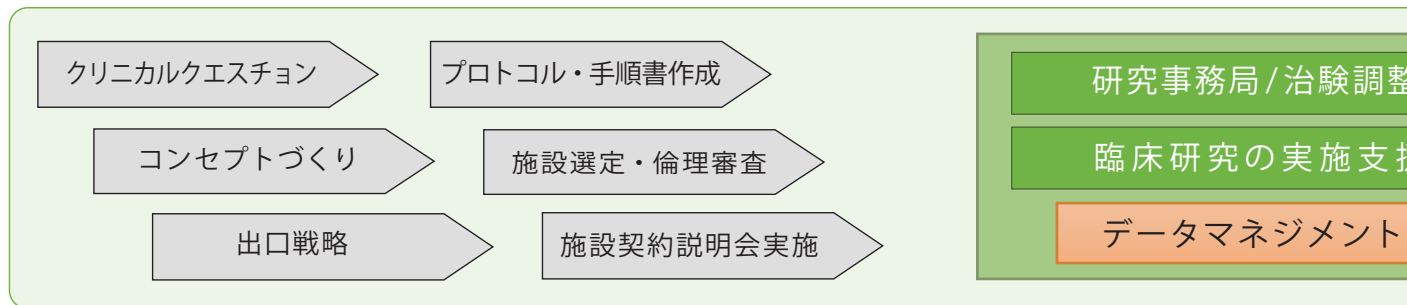
臨床研究の遂行には、被験者はもちろんのこと、参加施設の医師や事務部門など、極めて多数の人が関わるため、個々の臨床研究を「ひとつのプロジェクト」として運営・進捗管理していくという視点が必要になります。

研究開発支援室は、次世代臨床研究センターの各部署が一体となった支援活動を行うための調整役として、プロジェクトマネジメントを中心に、臨床試験の準備段階から承認まで（研究実施体制構築、CRO等の外部機関の選定から委託方針のコンサルテーション、資金提供会社（研究薬提供会社）との折衝等、試験立案から出口戦略まで）、臨床試験のプロジェクトに係わる様々な側面から研究者の要望に応じた支援を実施いたします。

今後は、臨床研究に精通した医療専門職（ARO協議会や日本臨床薬理学会の認定保持者）や薬事承認やPMDAの实地調査の経験から、法令順守のために助言するだけでなく、実用化に向けた承認申請資料作成において、開発期間を短縮、規制当局と研究者・開発者との相互理解の促進に努めるよう積極的な支援を展開していきます。



次世代臨床研究センターの臨床研究の仕組み



支援

試験準備		試験実施
・コンセプトシートによる面談 ・症例報告書の見本作成 ・戦略相談、対面助言等のPMDA対応 ・キックオフミーティングの開催	・研究・治験計画書の作成 ・各種手順書作成対応 ・倫理審査・治験審査申請の支援 ・解析計画書作成	・試験運営に関する事務局設営 ・症例登録の進捗管理 ・外部機関（CRO、SMO等）の管理

統計解析室



室長
三枝 祐輔 准教授

臨床試験は通常、計画立案から始まり、詳細なプロトコル作成を経て試験を実施し、データ収集・解析、報告書作成、さらに論文作成というプロセスを経ます。

そのため、最終的なゴールを見据えてプロトコルを作成していくことが重要であり、その際には試験の計画段階からの生物統計家の関与が必須です。

統計解析室では、簡単な統計相談から、試験デザイン作成、症例数設計、解析計画策定、データ解析、報告書および論文作成の支援を行っており、とくに重要な試験計画立案の初期段階ではコンセプトレビューという形で関与いたします。

次世代臨床研究センターの統計解析室にはアカデミア随一の陣容の生物統計家が所属しており、一般社団法人日本計量生物学会の試験統計家認定制度による認定試験統計家を擁しています。

支 援 内 容	
● 研究デザインの立案	● 統計解析
● 症例数設計	● 統計解析報告書の作成
● プロトコル（統計関連部分）作成	● 論文（統計関連部分）作成
● 統計解析計画書の作成	

臨床試験管理室



室長
柳田 洋一

臨床試験は、臨床研究法、あるいは、「GCP（医薬品・医療機器・再生医療等製品の臨床試験の実施の基準）」や「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って、倫理的かつ科学的に実施することが求められます。

臨床試験管理室は、治験が円滑かつ適正に実施できるように医師や被験者をサポートする臨床研究コーディネーター（Clinical Research Coordinator）業務、治験事務局等の重要な役割を担っています。

また、市販後の薬剤・医療機器、あるいは手術手技等にかかるUnmet Medical Needsを埋めていく自主臨床試験のCRC業務も積極的に展開していく予定です。

大学全体の「臨床試験」の質の向上を通じて、横浜市大発の新しい治療の提供に貢献することを目指します。

IRB 審査件数の推移（新規のみ）	2024年度	2025年度	CRCが支援した臨床研究の試験数 （年度毎の新規試験数）		2024年度	2025年度
企業治験	28	36	企業治験	YCU	3	7
医師主導治験（主：YCU）	0	0		SMO	25	29
医師主導治験（主：他院）	3	0	医師主導治験	YCU	3	0
治験の合計	31	36		SMO	0	0
			特定臨床研究	YCU	0	1
			非・特定臨床研究		0	0

*1 YCU: 横浜市立大学附属病院の職員

*2 SMO: Site Management Organizationの略

*3 非・特定臨床研究：特定臨床研究を除く臨床研究（観察研究など）

教育研修室



室長
峯岸 薫 講師

臨床研究においては、研究計画の立案が最も重要なステップの一つです。そのためには、疫学（研究デザイン）、統計学に加え、倫理指針、臨床研究法、治験に関する制度など、幅広い専門知識が求められます。

教育研修室は倫理委員会とは独立した組織として、主に研究者および研究支援スタッフを対象に、臨床研究の理論や方法、実践的なスキルの習得を目的とした講習会やセミナーを企画・開催しています。また、研究の適正な遂行および専門的な判断に必要な知見の向上にも取り組んでいます。

さらに、横浜市立大学にとどまらず、地域全体での臨床研究の普及と推進を目指し、ARO（Academic Research Organization）としての立場からも積極的な支援を展開しています。

研究者に対しては、臨床研究に関する個別支援も行っており、特に介入研究においては、構想段階から科学的・倫理的な妥当性を確保するため、コンセプトシートの確認や対面での相談対応などを通じて、質の高い研究の実現に向けた支援を提供しています。

業 務 内 容
・臨床研究の研究計画に関する対面相談 ・介入研究のコンセプトシートのチェックと研究者へのフィードバック ・臨床研究セミナーの企画・講演

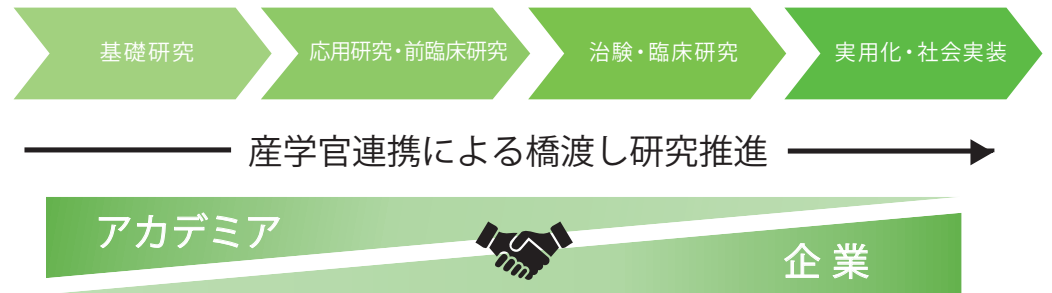
戦略相談室



室長
小林雄祐 講師

基礎研究から臨床研究・治験への橋渡し研究は、革新的な医療技術を患者さんへ届ける上で、重要な役割を担います。また、地域や社会のニーズが研究者自身も気づかなかった研究の価値を引き出す契機となることも少なくありません。一方で、臨床・実用化への道のりには資金・人材・技術・知財・規制対応など複数の障壁があり、有望な研究が埋もれてしまうのが現実です。

戦略相談室では、産学官民連携の支援や知財・業事・事業戦略の専門家との協働を通じ、研究シーズの育成からニーズ起点の取り組みまで幅広く橋渡し研究を戦略的に支援します。必要なリソースを学内外から能動的に確保することを中心的なミッションとして、早い段階からのご相談をお待ちしています。



事務局



室長
山口 浩

事務局では、次世代臨床研究センター全体の運営を統括し、臨床研究を推進するための体制整備を進めています。また、他機関からの研究支援の依頼窓口を担当するとともに横浜臨床研究ネットワーク協定病院の臨床研究、治験を推進するため様々な支援活動を展開しています。

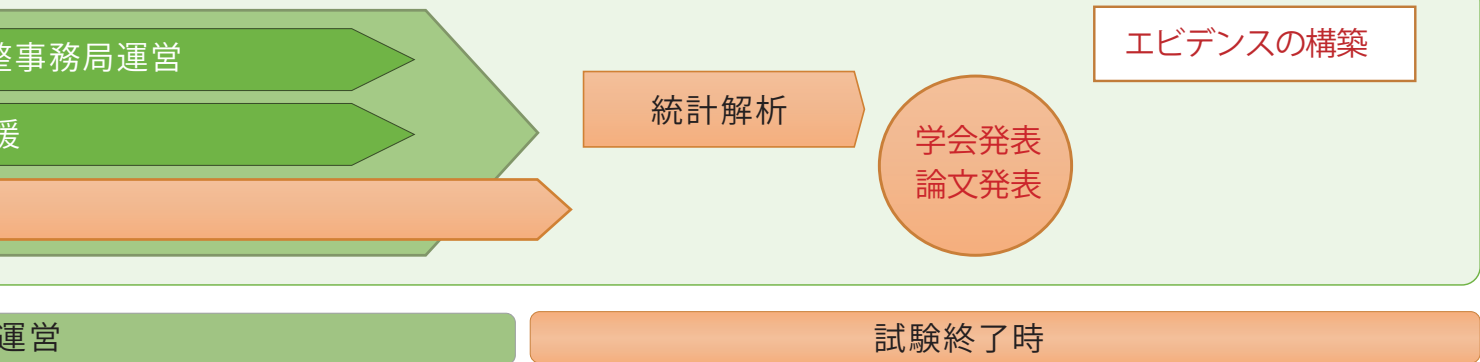
さらに、厚生労働省から認定された臨床研究審査委員会をはじめ各医学系倫理指針に基づく倫理委員会事務局や臨床研究利益相反委員会事務局として、横浜市立大学及び他機関から依頼される臨床研究等の倫理審査業務等を行っています。

医学系倫理委員会の審査件数			
● 臨床研究審査委員会（件数）		※法施行前から実施している特定臨床研究の再審査を含む。	
	新規申請（外部機関）	変更申請（外部機関）	合 計（外部機関）
2024年度	11（1）	95（10）	106（11）
2025年度	9（3）	80（14）	89（17）
合 計	20（4）	175（24）	195（28）
● 人を対象とする医学系研究倫理委員会（件数）			
	新規申請	変更申請	合 計
2024年度	300	541	841
2025年度	286	594	880
合 計	586	1,135	1,721

※（注）人を対象とする医学系研究倫理委員会とヒトゲノム・遺伝子研究等倫理委員会は、2021年度から「人を対象とする生命科学・医学系研究倫理委員会」に統合されました。

構想づくりから論文化までのトータル支援

※企業治験は除く



- ・第三者委員会の開催の調整・対応
- ・モニタリング対応業務
- ・臨床研究の実施支援

- ・症例データのクリーニング
- ・問題症例の洗い出し
- ・データの固定
- ・症例検討会実施

- ・統計解析実施
- ・総括報告書、論文作成や学会発表等の作成支援
- ・監査対応

次世代臨床研究センターの支援内容について

当センターでは、戦略相談、プロジェクトマネジメントやデータマネジメント、統計解析、CRC支援業務、監査業務といった臨床研究における様々な支援を行っており、学内や他の医療機関だけでなく企業などからも依頼を受け付けております。支援依頼のご相談は下記問い合わせ先までお願いします。

《臨床研究推進課 臨床研究推進担当》

Tel: 045-370-7933 Fax: 045-370-7943

Mail: ynext@yokohama-cu.ac.jp

Web: <https://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~ynext/support/>



厚生労働大臣認定「臨床研究審査委員会」について

■ 認定日: 2018年3月30日

■ 認定番号: CRB3180007

■ 学外の依頼者の審査手数料(税抜き)

新規申請 208,000円

変更申請 50,000円

審査委員会のご相談は下記問い合わせ先までお願いします。

《臨床研究審査委員会事務局》

Tel: 045-370-7627 Fax: 045-370-7943

Mail: ycu_crb@yokohama-cu.ac.jp

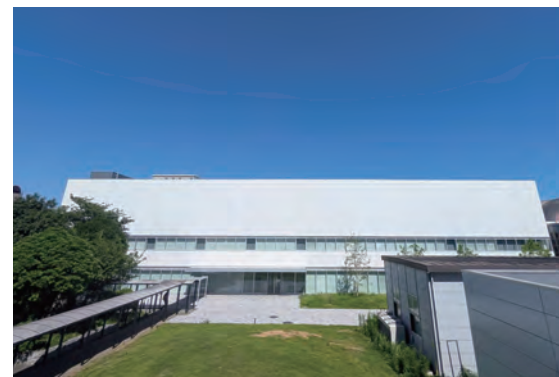
Web: https://www.yokohama-cu.ac.jp/amedrc/ethics/ethical/ycu_crb.html



横浜臨床研究ネットワーク整備事業

横浜市民・神奈川県民の先進医療の受診機会の増加及び医療産業の活性化を目的とし、治験をはじめとした臨床試験を複数の医療機関が連携して実施し、あたかも1つの医療機関のごとく機能するネットワーク「横浜臨床研究ネットワーク」を構築しています。

これらの取組により、地域医療機関の拠点となり、治療法の開発を推進し、市民・県民の皆様に最先端の治療をお届けすることで、地域医療への貢献を目指しています。



公立大学法人 横浜市立大学附属病院

次世代臨床研究センター

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9

オープンイノベーションラボ(本棟)1階

Tel: 045-370-7933 Fax: 045-370-7943

E-mail: ynext@yokohama-cu.ac.jp

Web: <https://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~ynext/>



【アクセス】

1. JJR京浜東北根岸線「新杉田駅」、または京浜急行線「金沢八景駅」で下車
2. シーサイドラインに乗り換え「市大医学部」下車徒歩1分